



## 卒業式・修了式を開催しました

令和4年3月8日(火)



4年間の大学生活は沢山の思い出で溢れています。共に学んだ仲間が存在はとても大きく、日々励まし合い、高め合うことができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で思うように学習が進められず、漠然とした不安を感じながら過ごした時もありましたが、先生方や家族、多くの方々の支えがあって乗り越えることができました。心から感謝しています。

卒業後は一医療従事者としての覚悟を持ち、自身を誇れるよう努力を重ねていきたいと思えます。

看護学科4年 藤川 彩香

大学生活では、講義や実習を通して多くのことを学び、実りある4年間となりました。

今までに親切にご指導して下さった先生方、共に多くの時間を共有したかけがえのない友人、そして今までずっと私たちを温かく見守り様々な面で支えてくださった家族がいてくれたからだと強く思います。

卒業後はそれぞれの道を進みますが、仲間と歩んできた4年を思い出し、日々切磋琢磨していきたいと思えます。

臨床検査学科4年 東 実里

## 修了生より

助産学について深く学び生命の尊さ、喜び、温もりを自ら感じることができました。そして、助産師はご家族を支える重要な役割を担う職業であると同時に、ご家族の笑顔を近くで感じられる素敵な職業であると学びました。

辛いことや苦しいこともありました。先生方、家族、そして専攻科の仲間が支えてくれたお陰で無事修了することができました。これからは、助産師として母子やそのご家族を支えられるように、日々邁進していこうと思います。

助産学専攻科 赤澤 里紗

看護学の博士前期課程は、皆が医療従事者であったため新型コロナウイルスの影響が大きく多忙を極め、また、研究方法も通常通りとはいかずそれぞれに苦勞がありました。しかし、指導教員に励まされ、職場も年齢もまちまちな同期達ではありますが支え助け合いながら各々の研究課題に取り組むことができました。

今後は得られた研究結果の還元だけでなく、その過程で学んだ研究的な視点を現場で生かせるよう努めていきたいと思っています。

大学院保健医療学研究科 看護学専攻 博士前期課程 藤村 保志花

私は精神看護に携わっており、研究では、認知行動療法やマインドフルネスの考え方をを用いて、“反すう”をテーマとして参りました。在学中は研究者、教育者として尊敬できる先生方や、職種や年齢を超えた沢山の人たちとの出会いを通じて自己の考えを深めることができました。未熟な私を温かく見守り、励まし、支えてくださいました皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

大学院保健医療学研究科 看護学専攻 博士後期課程 江口 実希

私は病原微生物学系研究室に所属し、緑膿菌の感染機構に関する研究をしました。実験は上手くいかないことが多かったですが、指導教員の先生や周りの方々の支えもあり、有意義な研究活動を送ることができました。今後、本学大学院を通して学んだことを臨床現場で発揮できるよう日々精進していきます。

ありがとうございました。

大学院保健医療学研究科 臨床検査学専攻 博士前期課程 七條 唯人

私は社会人大学院生として本学大学院に進学し、「尿路上皮癌(膀胱癌)検出マーカーの模索」をテーマに研究を行いました。本学の充実した研究設備および御高名な先生方の指導により、研究成果が国際誌に掲載されました。今後も本学で得た知識と技術を活かし、医療の質の向上や未来を担う世代への教育に努めたいと思います。

これまでに、ご指導賜りました先生方、そして温かく見守って下さりました皆様に深謝申し上げます。

大学院保健医療学研究科 臨床検査学専攻 博士後期課程 田中 慎一

## 国際交流活動について

国際交流委員長 平川 栄一郎

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、令和2年3月からカナダの南アルバータ工科大学保健学部(SAIT)との短期留学制度は中止した状態が続いています。そこで、昨年4月と8月に動画配信による交流を行いました。SAITからは「Covid 感染症下における医療従事者の専門性についてのパネル会議」、本学からは「日本における新型コロナウイルスワクチンの接種状況」、「日本と香川におけるCovid 19の感染状況」を相互配信し交流を深めることができました。



看護学科 准教授 堀 美紀子

岡山県立大学の特別公開授業に、本学看護学科1年生2名と教員5名がオンラインで参加し、香港理工大学看護学院のJustina Liu 先生から「看護学生がグローバルな体験を通して学ぶ意義と教育の実際」についてお話を伺いました。コロナ禍で国際交流が難しいなか、短時間でしたが香港と繋がり、英語での講義や質疑応答を通して身近にグローバルを味わうことができました。



各学科等の授業・実習の様子は、大学 HP でもご覧になれます。  
**大学 HP > キャンパスライフ > 授業・実習・学校生活の紹介**



## 看護学科 【地域健康サポーター実習】

昨年の4月から2年生の地域健康サポーター実習が始まりました。コロナの影響を受けながらも感染対策を行い、様々な地域で取り組んでいる交流や活動をご紹介します。

看護学科 准教授 岡田 麻里

看護学科 2年 石田 楓羽

私達は、まんのう町の「ことなみ未来館」(旧琴南中学校)の音楽室を借り、3歳から小学生を対象にダンス企画を行いました。日時やタイムスケジュール、ダンスの内容、チラシ作り等、1から自分たちで決め実施するのは大変でしたが、子ども達やお母さんたちまでもがダンスを通して楽しむ空間を作れたことに大きな達成感とやりがいを感じました。

次回の開催を望んでくれているので、今後も機会を設け、楽しい空間作りのお手伝いが出来たらと思います。



※チラシ作りもしました！



看護学科 2年 徳野 葵

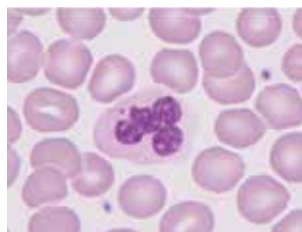
パラスポーツ団体のイベントに参加しました。IINEでは、参加者に卓球バレーの競技紹介・説明を行い、体験活動を行いました。さらスポーツクラブでは、風船バレーやリフレッシュ教室で、風船バレーや、身体をほぐす運動をしました。

これらのパラスポーツは、様々な世代の交流の場であり、障がいがある人もない人も楽しめるルールです。あらゆる人が楽しめるスポーツであることを、多くの方に知ってもらいたいと思う機会になりました。

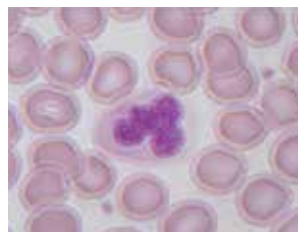
## 臨床検査学科 【顕微鏡技術論】

臨床検査学科 助教 近藤 明宏

1年次に行われる「顕微鏡技術論」は、顕微鏡に実際に触れて原理や操作方法を学ぶ授業です。細胞や細菌等の検査には様々な顕微鏡が使用されているため、臨床検査技師を目指す上で、特徴や操作方法について理解しておくことは必要不可欠となります。そこで、この授業では教員が丁寧な指導を行い、標本の観察方法から清掃方法まで、顕微鏡の正しい操作方法を習得してもらっています。



顕微鏡操作が正しい例 ▶



◀ 顕微鏡操作が悪い例



## 新任紹介



岡田 仁  
臨床検査学科 教授  
専門分野  
分析検査学

2021年10月より臨床検査学科の教員として着任いたしました。香川県で小児血液がんを中心とした小児医療に臨床医として長年携わってきました。これらの経験を生かした教育および自ら考え行動することができ患者さんに寄り添うことができる臨床検査技師の人材育成に尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 広報・公開講座委員会より

広報・公開講座委員長 松村 恵子

Webオープンキャンパス2021

令和3年7月10日(土)・8月28日(土)

2021年度オープンキャンパスについては、Web上で開催し、県内外から多くの皆様に御参加いただきました。今年度は、看護学科と臨床検査学科の計4名の学生に、大学生活の紹介や高校生への応援メッセージを伝えてもらいました。

参加者の皆様には、このオープンキャンパスを通して、本学への関心をより深めていただけたことと思います。



【カメラに向かって大学紹介中です。】

公開講座「健やかに生きよう」

令和3年10月25日(月)

新型コロナウイルス感染症が小康状態となった令和3年10月に、香川県社会福祉総合センターにおいて公開講座を開催し、40名の方に御参加いただきました。

教養部 古山達雄教授の講座では、たくさんの質問をいただき、看護学科 岡田麻里准教授の講座で行ったグループワークでは活発に意見を交わしていただきました。参加者の皆様には、両講座を通して、これからの生き方について楽しく、深く考えていただきました。



古山教授「寿命の話」



岡田准教授「自分らしく生きるを語る」と  
“大切な人の心に贈り物をのこす”

### 【皆様からの感想】

- 貝原益軒の養生訓は昔から変わらないこと、改めて古山先生のお話で大変よく分かりました。
- 人生会議を知ったことと、グループワークでそれぞれの意見が聞けたことが良かったです。

### ●お知らせ

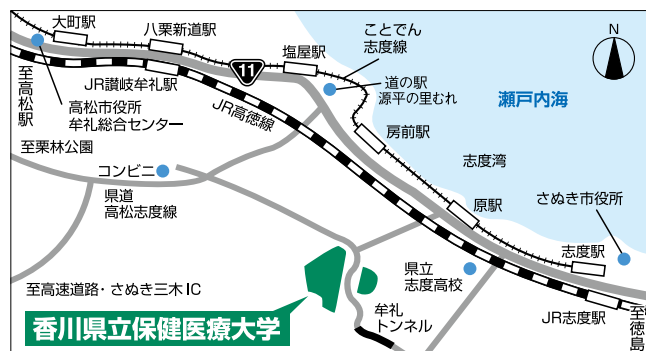
- ◆入学式 4月5日(火)
- ◆オープンキャンパス 7月～8月
- ◆公開講座 8月下旬・11月中旬予定
- ◆橄欖祭(大学祭) 11月5日(土)予定
- ◆いきいき健康広場 年1回  
(8月の公開講座と同時開催予定)



香川県立保健医療大学

KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1  
Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202  
E-mail:hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp  
https://www.kagawa-puhs.ac.jp/



### ◆学校への経路

- 【西方面から】高松から車で30分  
ことでん志度線・原駅下車徒歩10分  
高松東ICより車で10分
- 【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分  
志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分

タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。